

## 申請書記入要領

平成26年度地球シミュレータ公募課題の選定にあたっては、「平成26年度地球シミュレータ公募課題申請書」（以下「申請書」という。）を審査資料とします。

申請書の記入にあたっては、以下の注意・説明をよく読んでください。

### 1. 記入にあたっての注意

- (1) 申請書は、課題責任者が責任を持って作成、提出をしてください。
- (2) 申請書は、所定の様式を使ってください。また、様式の改変は認めません。
- (3) 申請書の様式のうち、2. に明記している頁以外は、用紙を追加することはできません。
- (4) 申請書に記入漏れや誤記入、不明瞭な点がある場合には、審査の対象外となったり、誤ったままの状態審査されることとなりますので、十分注意して申請書を作成してください。
- (5) 申請書は日本語で記述してください。
- (6) 申請書の記入フォントサイズは、12ポイントが望ましい（小さくとも10.5ポイントまで）。

### 2. 記入内容の説明

項目	記入内容
申請日	申請書を提出する日を書いてください。
受付番号	機構側で記入しますので、何も記入しないで下さい。
申請区分	今回新たに申請する課題は「新規」を選択してください。 前年度に実施していた同一課題が申請する場合は「継続」を選択してください。
申請機関	申請機関とは、課題責任者の所属する機関です。申請機関と申請機関代表者を記入し、申請機関承認印の欄に公印を押印してください。申請機関代表者とは、所属する機関で規定された機関の長（もしくはそれに相当する権者）をいい、公印とはその印を指します。

課題責任者	<p>課題責任者の氏名、国籍、所属機関・部局・職（申請時の職）を記入し、印（認印可）を押印してください。複数の機関に所属している場合はスラッシュ（/）で区切って併記してください（〇〇大学〇〇学部教授／…）。</p> <p>連絡先住所等は、最も連絡の取りやすい場所を記入してください。その場所が前述の所属機関と異なる場合は住所に続けて機関名も記入してください。</p>
-------	---

研究分野	地球科学分野										
課題名	課題名を日本語、英語共に記入してください。課題名は、研究の内容が具体的に分かるものにしてください。										
応募区分	<p>1つの申請書で同一課題について2つの区分まで応募することができます。上位区分で採択された場合には、下位区分の応募は無視されます。</p> <p>4段階の応募区分のうち、区分4はエントリークラスとして応募を受け付けます。エントリークラスは計算資源量が比較的少なく、試験的に利用するのに適しています。</p> <table border="1" data-bbox="596 1099 1251 1478"> <thead> <tr> <th>応募区分</th> <th>割当計算資源量 (ノード時間/年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区分1</td> <td>35,750</td> </tr> <tr> <td>区分2</td> <td>23,833</td> </tr> <tr> <td>区分3</td> <td>11,917</td> </tr> <tr> <td>区分4</td> <td>2,383</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 1. 割り当て計算資源量の応募枠</p> <p>計算資源量を適切に試算した上で応募区分を選んでください。</p>	応募区分	割当計算資源量 (ノード時間/年間)	区分1	35,750	区分2	23,833	区分3	11,917	区分4	2,383
応募区分	割当計算資源量 (ノード時間/年間)										
区分1	35,750										
区分2	23,833										
区分3	11,917										
区分4	2,383										
研究概要	課題の研究概要を記入してください。										

<p>課題メンバー一覧</p>	<p>この課題メンバー一覧には、地球シミュレータを使う、使わないに関らず、当該研究課題に参加している方全てを記載してください。</p> <p>※メンバーが36名以上になる場合はこのページをコピーして、番号を36番から振りなおして記入してください。</p> <p>「ES利用」欄・・・メンバーの内、地球シミュレータを使う方には、「ES利用」欄に「○」を付けてください。</p> <p>「備考」欄・・・次に該当するものがあれば「備考」欄に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新規」（新規登録者）</li> <li>・「所属変更」（前回の登録時から所属が変更になった者）</li> <li>・「削除」（前回までの登録メンバーで、今回メンバーを外れた者）</li> </ul> <p>末尾に課題メンバー（責任者含む）合計数と、ES利用者の合計数を記入してください。</p>
-----------------	---

<p>研究の意義</p>	<p>課題の研究の意義を記入してください。特に、この研究を行うことにより、国民・社会生活に大きく貢献する、あるいは、基礎科学研究で飛躍的な成果が期待できるか、またその時期という観点から記入してください。</p> <p>※ 2つの区分に応募する際、区分によって内容に違いがある場合は申請書にその旨明記してください。</p>
--------------	--

<p>研究内容</p>	<p>課題の研究内容の詳細（見込まれる研究成果、研究方針、方法、研究計画等）を記入してください。研究方法については、どのようなモデルを使用するか等、詳細に記入してください。</p> <p>※ 2つの区分に応募する際、区分によって内容に違いがある場合は申請書にその旨明記してください。</p>
-------------	---

<p>地球シミュレータを用いる必要性</p>	<p>地球シミュレータを用いることによって達成可能な研究であることを記述してください。特に、申請者またはメンバーの所属機関でスーパーコンピュータを所有する場合、地球シミュレータでなくてはならない理由を明確に記述してください。</p> <p>※ 2つの区分に応募する際、区分によって内容に違いがある場合は申請書にその旨明記してください。</p>
------------------------	---

<p>他の申請課題との関係</p>	<p>課題責任者が他の地球シミュレータ利用課題のメンバーとなっている場合、本課題との関連性を示してください。</p>
-------------------	--

<p>計算資源利用計画</p>	<p>研究に必要な計算資源量を適切に試算し、具体的な利用計画を記述してください。特にプログラムの開発状況、実行計画（何ノード何時間使用するプログラムを何ケース実行する）や、プリ/ポスト処理等のスケジュールについて明記してください。</p> <p>複数年度に渡る場合は、3年以内を目途に計画を立ててください（何年目にどのような計算をどのくらい行うか）。</p> <p>※ 2つの区分に応募する際、区分によって内容に違いがある場合は申請書にその旨明記してください。</p>
-----------------	--

<p>本研究に関連して過去に発表した論文</p>	<p>新規課題については、本研究に関してこれまでに発表した論文があれば記載してください。論文の発表先、発表時期、論文のタイトル及び発表者を全て記入してください。</p> <p>継続課題については、これまで地球シミュレータを利用して得られた成果を発表した場合は、「地球シミュレータ研究成果リポジトリ（※）」に登録してください。その登録内容については事務局が別途資料を作成（最大過去3年度分）しますので、記入する必要はありません。それ以外に本研究に関連して発表した論文があれば、その情報を記載してください。</p> <p>※「地球シミュレータ研究成果リポジトリ」  <a href="https://www.jamstec.go.jp/es-repository/portal/jp/index.html">https://www.jamstec.go.jp/es-repository/portal/jp/index.html</a></p> <p>注：継続課題については、このリポジトリに登録がない場合は地球シミュレータを利用した成果が無いと見なされます。公募期間終了日までに必ず登録を済ませてください。</p> <p>※ ページが足りない場合は、このページをコピーして記入してください。（最大2ページまで追加可。）</p>
--------------------------	--

<p>これまでに得られた画期的な研究成果</p>	<p>これまでに得られた画期的な研究成果を記入してください。</p>
<p>これまでに得られた成果に関して広報した新聞・雑誌記事、テレビ、ラジオ番組等</p>	<p>これまでに得られた成果に関して広報した新聞・雑誌記事、テレビ・ラジオ番組等の広報先、広報時期、記事・番組のタイトル他を記入してください。</p>
<p>特許権等取得見込件数</p>	<p>課題を実施した結果、特許権等を取得する予定がある場合はその件数を記入してください。継続申請の課題は、既に取得した件数も記入してください。</p>

<p>プログラムの情報</p>	<p>課題で実行するプログラムについて各項目を記入してください。</p> <p>「動作させたプログラムの実績」はこれまでの実績のうち代表的な1ケースについての計測値を記入してください。</p> <p>「プログラムの計算実績」はこれまでに当該プログラムを実行したマシン環境や計算規模、計測値等の実績をフリーフォーマットで記入してください。</p> <p>「並列化率」については以下を参照してください。</p> <p>参照：資料2. 並列化率と並列化効率の関係について</p> <p>※プログラムが複数ある場合は、このページをコピーして記入してください。</p>
-----------------	---

<p>地球シミュレータで必要となる最大ディスク容量とその根拠</p>	<p>課題で必要となる最大ディスク容量をHOME領域、DATA領域について記入してください。また、その算出した使用量の根拠を記入してください。（プログラムが複数ある場合、各使用量は複数あるプログラムの合計値を選択し、根拠は各プログラムについてそれぞれ記入してください。）</p>
------------------------------------	---

<p>地球シミュレータ利用者 詳細情報記入欄</p>	<p>地球シミュレータを利用する人の氏名、国籍、所属機関・部局・職（申請時の職）を記入してください（国籍によっては役務申請等必要な場合があります）。複数の機関に所属している場合はスラッシュ（/）で区切って併記してください（〇〇大学〇〇学部教授／・・・）。</p> <p>連絡先住所等は、最も連絡の取りやすい場所を記入してください。その場所が前述の所属機関と異なる場合は住所に続けて機関名も記入してください。</p> <p>※ ページが足りない場合は、このページをコピーして記入してください。</p> <p>※ 地球シミュレータを使わない人についてはこの欄に氏名等を記入する必要はありません。</p>
----------------------------	---